

第 2 回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)1月22日(土)9:30~12:15
場所	みなみ野小学校2階家庭科室
出席者	参加者:荒井、大倉、大淵、大山、川崎、佐藤、塩沢、野牧、糠信、橋山、平野、山城 未来デザイン室:野田、橋本、牧瀬 八王子地域 PAL-ETTE:段野 高齢者あんしん相談センター片倉:佐藤、相馬 社会福祉協議会:田野倉 第1層生活支援コーディネーター:今泉 (株)アール・ピー・アイ:佐藤、岩崎、樋渡、中井
配布資料	・みなみ野中学校区 地域づくり推進会議資料 ・資料1:みなみ野中学校区 地域カルテ(案) ・資料2:地域カルテ修正依頼書反映状況一覧 ・資料3:第1回みなみ野中学校区地域づくり推進会議「地域固有ページについて考えよう」 まとめ ・資料4:参加者持ち寄り情報 ・資料5:第2回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 地域カルテ掲載情報提供シート ・(参考):長房中学校区地域カルテ 地域固有ページと地域資源マップ

1. 開会

未来デザイン室から挨拶。

2. 第1回推進会議とその後の振り返り

(1) 第1回推進会議の振り返り

地域づくり推進会議の目的や令和3年度(2021年度)の位置づけ、地域カルテの目的等について、みなみ野中学校区地域づくり推進会議資料をもとに説明。

(2) 地域カルテの更新意見の確認

地域カルテにおける第1回推進会議からの修正箇所について、資料2「地域カルテ修正依頼書反映状況一覧」をもとに説明。

(3) アンケート回収状況の確認と今後の流れ

回収方法のうち、インターネットでの回収状況を報告。回収数は、令和4年(2022年)1月21日時点で173件。

3. 地域カルテ企画会議

(1) 第1回推進会議の議論の振り返り

第1回推進会議グループワークのまとめについて、資料1「みなみ野中学校区 地域カルテ(案)」及び資料3「第1回みなみ野中学校区地域づくり推進会議「地域固有ページについて考えよう」まとめ」をもとに説明。

追加情報は、資料5「第2回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 地域カルテ掲載情報提供シート」での提供を依頼。

(参加者の主な意見)

- ・地域カルテ P4 のみなみ野四丁目の夏祭りの開催時期が違うのでは。
確認させていただく。(株)アール・ピー・アイ)
- ・資料3のグループワークのまとめにある『提供場面』に「由井市民センターみなみ野分館」を入れてはどうか。
「由井市民センターみなみ野分館」も提供場所の候補とさせていただく。(株)アール・ピー・アイ)
- ・キーワードとして出ている里山などの「自然」は、地域住民の中に作り手がいることによって、ほかの人たちが利用出来るもの。みなみ野には、まちの作り手がいるという土台があり、そのうえで新たな担い手をつくり、つなげていくことが推進会議として重要な役割だと感じた。
みんなの手でまちをつくってきたというところが、みなみ野のアイデンティティになるのかもしれない。(株)アール・ピー・アイ)

(2) 地域固有ページの基本方針を決めよう

資料3「第1回みなみ野中学校区地域づくり推進会議「地域固有ページについて考えよう」まとめ」のグループワークのまとめのキーワードを参考にしながら、地域固有ページのテーマの絞り込み方について事務局から説明し、参加者全体での検討を行った。主な検討内容は以下のとおり。

～検討結果～

「自然」「伝統・文化」「暮らし(健康・福祉を含む)」をテーマに、地域に関わる人々とその活動内容について紹介する。

～主な検討内容～

- ・キーワードとして出ている「自然」は、「宇津貫みどりの会」が熱心に取り組んでいる。そうした取組をしている人を推進会議に呼んで話を聞くことはできないのか。
必要に応じて、団体に依頼することは可能。(未来デザイン室)
- ・「宇津貫みどりの会」が作った本に掲載されている20年前の地図を載せて、みなみ野の移り変わりなど分かるようにしてはどうか。
- ・里山は人の手を加えることで守られている。また、地域におけるイベント・文化・伝統といったものは、人のつながりが不可欠である。こうした「人」を魅力として捉え、伝えていくことが重要。
- ・キーワードを考えた時に、みなみ野は「自然」と「人」がうまく循環して何かが生まれるまちなのではないか。みなみ野小学校の校歌には「風が生まれるまち」というフレーズもある。
- ・みんなで地域の暮らしや未来を作っている、というのが伝わるような紙面にしたい。
- ・どんど焼きなどの伝統的なイベントにも、地域の人々の込められた想いがあるはず。
- ・活動している人の顔写真を掲載するとともに、活動に対する想いを掲載するのはどうか。また、追加情報として活動に関する書籍などがあれば、その情報も掲載してはどうか。
追加情報は二次元コードで掲載し、スマートフォンで読み取ってもらう形にすると良いのではないか。(参加者)
- ・健康や福祉も地域を考えるうえで重要なこと。そういったことを含め「自然」「伝統・文化」「暮らし(健康・福祉)」をテーマにし、関わる人々を紹介する。また、その人々が行う活動を将来へ

とつなげていくような見せ方が良いのではないか。

(3) 地域固有ページの中身を話し合おう

○ステップ 載せたい個別情報の洗い出しを参加者全員で行った。参加者からの主な意見は以下のとおり。

～参加者の主な意見～

- ・「自然」をキーワードと考えると、「みなみ野自然塾」や「宇津貫みどりの会」は里山の保全活動などを行っているし、各町会などではアドプト制度による公園管理を行っていて、そうした活動によって自然が守られていると思う。
- ・幼稚園に設置されたムササビの巣箱の話がTV番組で放映されたが、子どもや学校なども自然を守る一員であり、地域の担い手として捉えられるのでは。
- ・「伝統・文化」の取組としては、夏祭りが挙げられるのでは。
地域の祭りなどは、担い手の「伝承したい」という思いがあり、その思いを共有することが、地域の活性化につながる。(参加者)
住民が地域の行事を続けることで、その地域に文化が生まれる。文化は新しい住民がすぐに作れるものではないので、引き継ぐのが大事。(参加者)
- ・「自然」「伝統・文化」「暮らし」が絡み合う内容なので、グループごとに3つのテーマについて意見を出しあい、最後に一つにまとめるのはどうか。

○ステップ 担当チームに分かれての個別情報の洗い出し

各チームの検討内容は、以下のとおり。

～主な検討結果～

< Bグループ >

- ・テーマごとの取組内容について意見を出しあった。
「自然」: お花見など
「暮らし」: 町会のアドプト活動、清掃活動、防災活動など
「伝統・文化活動」: 夏祭り、どんど焼き、由井市民センターみなみ野分館まつりなど
- ・こうした活動をつなげ、広げていくためには、若い人たちにどのように活動を伝え、発展させていくかが大切である。

< Aグループ >

地域固有ページを見た人がみなみ野に住みたいと思える、また住んでいる人が見ても、みなみ野にはこんな素敵などころがあるんだと誇らしくなってもらえるようなページにしたい。その要素が視覚的に伝わるよう、図式化した。

【図式化した要素】

- ・まちには、恵まれた生活環境の土台(まちのインフラ、自然、歴史・文化)がある。
- ・土台の上には、安心できる暮らしがあり、それは心のゆとりにもつながる。
- ・安心できる暮らし、心のゆとりがあることで、様々な地域の活動が展開される。

- ・こうした循環が、「人とつながるひとが育つまち」「自然を大切にする人が育つまち」「文化や伝統を大切にする人が育つまち」をつくる。

「～風がうまれるまち～（新しいことを生み出す等）」として成り立っている。（参加者）

- ・この図に、具体的な活動や活動している人を紹介するような内容を盛り込むとよいのではないか。

グループワークの詳細は別紙参照。

<次回に向けて>

- ・「自然」「伝統・文化」「暮らし」についての情報（写真、活動している人など）を持ち寄ると良いのではないか。
- ・子ども家庭支援センターなどで情報収集のための聞き取りを行ってもよいのか。調査委員会みたいなものがあったとしても良いのかもしれない。

事前にアナウンスがあれば、施設等への聞き取りは可能。その際は、未来デザイン室の職員が同行する。（未来デザイン室）

（４）マップ等に関する情報を出し合おう

<マップ>

マップ・表紙・写真・イラストの掲載情報について参加者全体で検討。参加者からの主な意見は、以下のとおり。

（参加者の主な意見）

- ・公園緑地の名前を入れてはどうか。
- ・川の名前で間違えている箇所があるので修正してほしい。湯殿川× 兵衛川
- ・固有ページとリンクさせて、インフラ、自然、歴史・文化の中から象徴的なものを写真で掲載。
- ・共通項目（AED等）の他に、歩道が広いなど、安心して暮らせるまちを表現できれば良いのではないか。

補足として、長房のコンビニはAEDなどの設備がある箇所だけ掲載している。（未来デザイン室）

- ・公衆電話（公衆電話マーク等で）の場所を表示するのはどうか。
- ・マップのタイトルは「みなみ野」ではなく、「みなみ野中学校区」とするべきではないか。
各チームで検討していただいた地域固有ページの内容を一度マップに掲載してたたき台とする。
ただしページの制限があるため、全ての情報の掲載は難しい旨はご了承ください。（株）アール・ピー・アイ）

<表紙・写真・イラスト>

参加者からの主な意見は、以下のとおり。

（参加者の主な意見）

- ・ラッパ銀杏の写真はどうか。
- ・地域を跨ぐものもあるのではないかと。地域を跨ぐものは「+」として載せても良いのではないかと。
「みなみ野地区」全体でやっていることもあると思うが、一旦「みなみ野中学校区」で考えていただきたい。（未来デザイン室）
- ・栃谷戸公園の富士山の写真も良いのではないかと。
- ・みなみ野自然塾のことが、YouTube「みなみ野大自然」で見られるので参考にしたいかと。写真

もお願いすれば提供できるかもしれない。

4. 意見・情報交換「みんなにシェア・みんなでシェア」

本会議での検討経過を振り返り、地域固有ページやマップづくりに関する意見交換、情報を共有。
(主な意見交換等の内容)

- ・現在八王子市では、未来デザイン長期ビジョンの素案に対するパブリックコメントを実施している。フューチャーセンターでは1月29日に学校教育分野について、市に提言する内容を検討するためのイベントを企画している。また、2月13日に西暦2022年と2100年の架空の八王子市民をネット上で繋げて、未来の人と対話することによる課題出しを行うイベントも開催予定である。興味があれば連絡いただきたい。
- ・地域学校協働本部がみなみ野でも立ち上げ予定なので、この会議との関係づくりを進めることを考えている。

当室も教育関係の部署と地域づくりの話し合いを進め、情報提供をしていきたい。(未来デザイン室)

- ・若い世代に伝えたい、人とのつながりが大事だという意見がある中で、実際に色々な世代が交流する場所があるのか。(高齢者あんしん相談センター片倉)

世代間交流の場の情報をご存じであれば、情報提供シートで提供していただきたい。((株)アール・ピー・アイ)

世代間交流のプラットフォームをSNSなどを用いてシステム化していくことも課題の一つだと考える。(参加者)

5. 閉会

今回の推進会議の開催日時等を確認するとともに、次回までの依頼事項を参加者に伝えた。

- ・第3回推進会議

開催日時：令和4年2月20日(日)9:30~12:00

開催場所：みなみ野小学校 2階 家庭科室

以上

第2回みなみ野小中学校区 地域づくり推進会議
「地域固有ページの内容を話あおう」

Aグループ

～ 風が生まれるまち ～

みなみ野に住む“物語”

困ったとき、
上手くいかないときにも

心のバランス
が保てる

助けて
もらえる

人とつながる人
自然を大切にする人
文化・伝統を大切にする人
.
.

さまざまな活動が展開されている（多様な人の存在）

地域の頑張りがある

人とのつながりがある

選択肢が多い

安心して暮らせる

余裕

ゆとりが生まれるまち

まちに安心できる

心に余裕が生まれる

みんなが暮らす生活環境の土台

まちのインフラ

自然

歴史・文化

道が広く
安心でき
る

子ども達
と歩きや
すい

駐車場が
広い

保育園・
クリニック
がある

治安が良
い

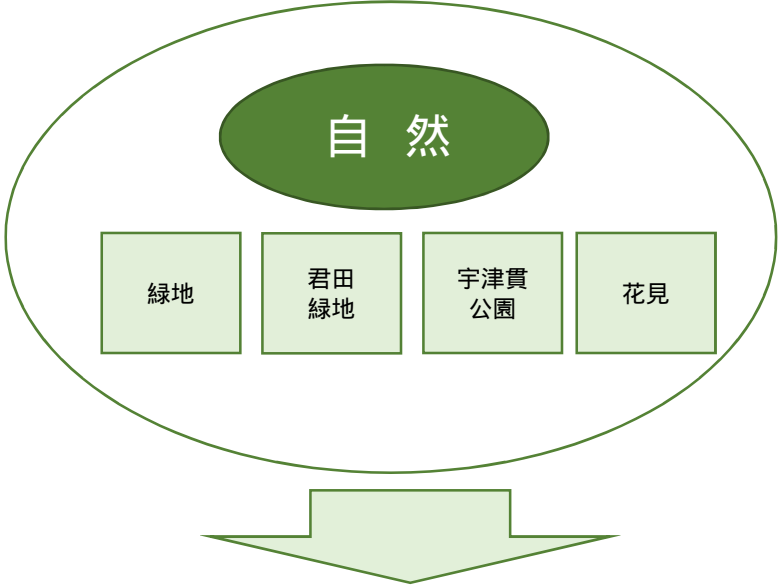
信頼でき
る教育環
境がある

安心して
子育てが
できる

選べる環
境がある

先代から
培われて
きた歴史
・文化が
ある

Bグループ



A large light orange rounded rectangle containing a row of seven smaller orange boxes: "アドプト活動" (Adoptive activity), "地域清掃" (Local cleaning), "青少対" (Youth), "町会自治会" (Town association), "若い世代" (Young generation), "大学生ボランティア" (University student volunteer), and "……" (Ellipsis). Below the boxes is the text "若い人にも頼る・助け合う" (Rely on and help young people) and "みんなで作っていこうよ!!" (Let's make it together!!).

